



学校だより

平成31年2月19日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.492

平成30年度 教育活動アンケートの結果報告

12月に保護者の皆様にご協力いただきました「教育活動アンケート」についての結果をご報告させていただきます。また、同時期に全校児童に対して行いました「授業と生活についてのアンケート」、教職員に行いました「学校評価アンケート」についてもご報告いたします。

★グラフは右の項目で表示しています。

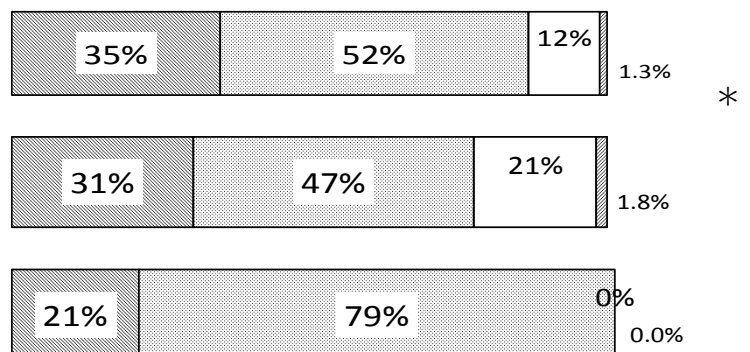
そう思う A	ややそう思う B	あまり思わない C	そう思わない D
--------	----------	-----------	----------

★各質問に対するアンケートの結果は、右のように表示しています。

上段	児童のアンケート結果	(回収率97.7%)
中段	保護者のアンケート結果	(回収率96.7%)
下段	教員のアンケート結果	(回収率100%)

①授業に積極的に参加している。

*児童と保護者は同じ質問文です。
以下、同様。

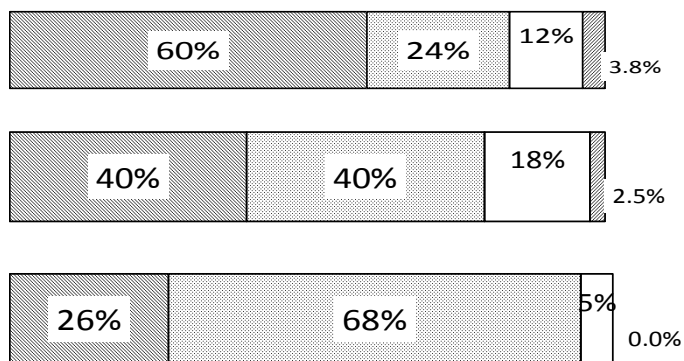


教員の質問文
子供たちが学習活動に積極的に取り組む
ように授業や宿題等を工夫している。

②運動や外遊びを積極的に行っている。

教員の質問文

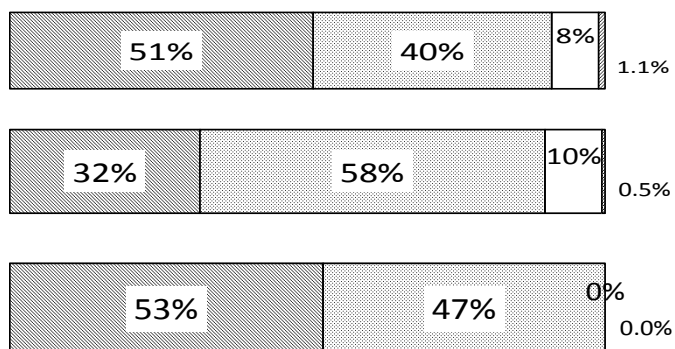
子供たちが運動や外遊びに積極的に取り組むように、日頃から心がけて指導している。



③学校のルールを守ることができる。

教員の質問文

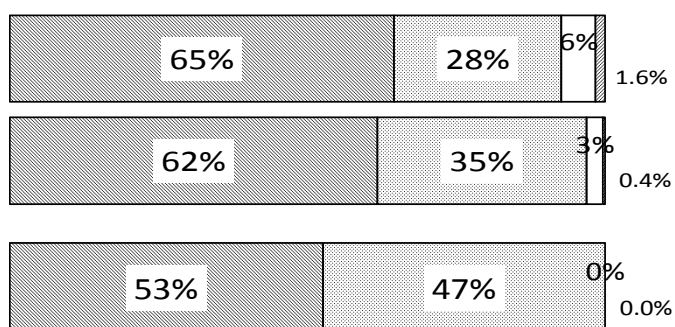
子供たちが学校のルールや家庭のルールを守ることができるように、日頃から心がけて指導している。



④運動会や展覧会、なかよし学級、移動教室などの行事に参加して自分が成長したと感じている。

教員の質問文

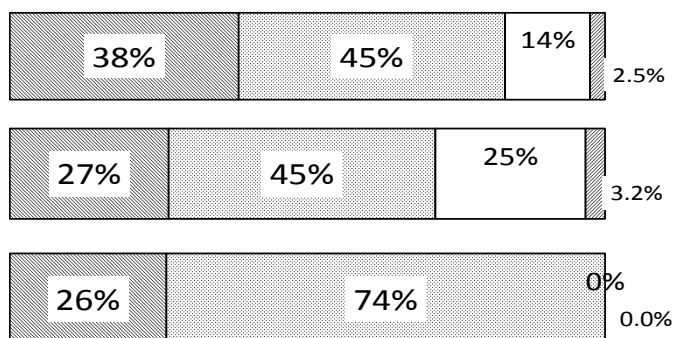
運動会や展覧会、なかよし学級、移動教室などの行事を通して子供たちを育てようと心がけて指導している。



⑤先生や主事さん、友達に自分から進んで、元気よくあいさつすることができる。

教員の質問文

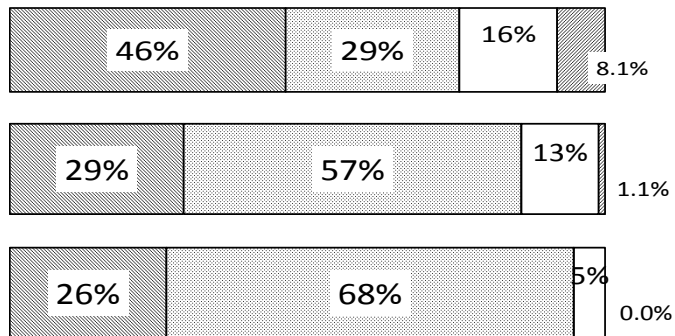
子供たちが、自分から進んで、元気よくあいさつすることができるように日頃から心がけて指導している。



⑥なやんだり、こまったりしたことがあるときには、お家の方や先生に相談することができる。

教師の質問文

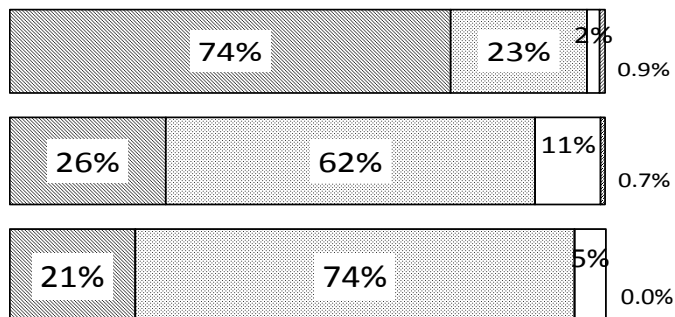
子供たちの悩みに気付けるように、日頃から心がけている。また、親身になって子供たちの相談にのっている。



⑦「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活することができる。

教師の質問文

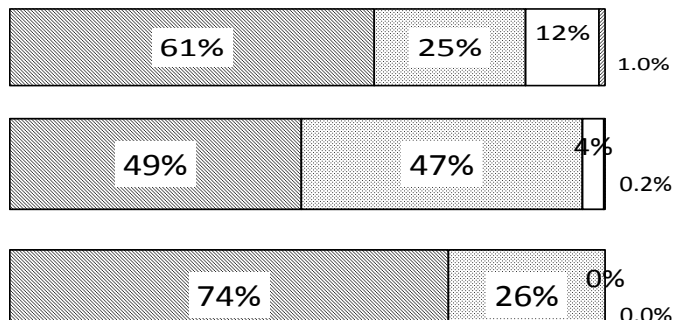
子供たちが「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活することができるように指導している。



⑧いじめのない明るい学級にしようと努力している。

教師の質問文

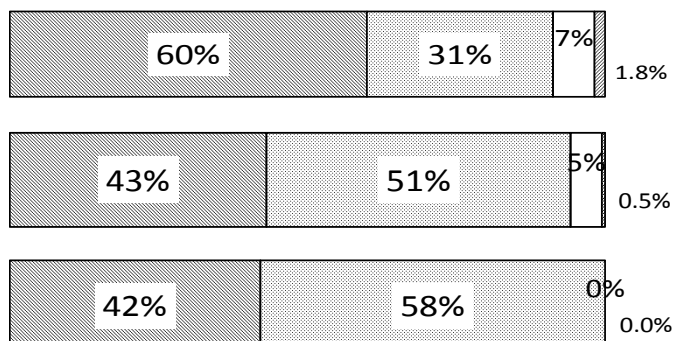
いじめは絶対に許さないという態度で指導を行っている。また、いじめが起きたときには、速やかに対処している。



⑨友達のよいところを認め、誰とでも仲良くしようと努力している。

教師の質問文

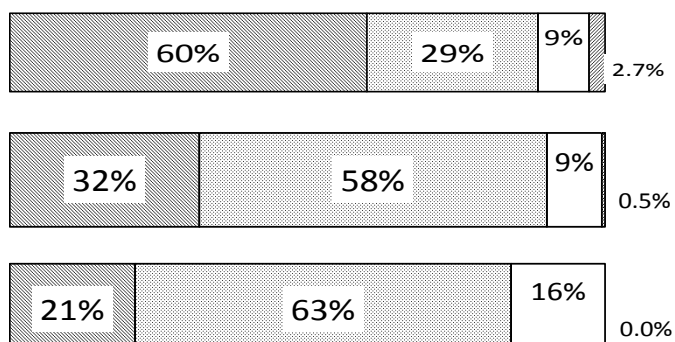
子供たちが友達のよいところを認め、誰とでも仲良くできるように、日頃から心がけて指導している。



⑩忘れものをしないように努力している。

教師の質問文

教育活動に関する必要な情報を、適宜、家庭に発信している。



4 来年度に向けて

成果

①行事の価値を大切にする

学力調査の結果

②いじめのない学校を目指す

児童、保護者、教員のいずれも力を入れてきたことがうかがえます。

課題

①児童の学力向上を目指す

学力調査の結果の報告をした際にもお伝えしましたが、本校の場合、特に下位から中位層の児童の引き上げが課題です。

そのため、本年度は、1年生から4年生までの学年では15分間のモジュール学習をいかして、漢字練習をこまめにくり返し行ったり、校内研究で国語の「読み」に焦点を当てて指導法の工夫を探ってきました。算数では、児童の習熟度に合わせて教材の工夫等をさらに進めたりしてきました。学校・地域連携事業の放課後未来塾にも連携を図ってもらい、基礎・基本の習熟に努めてきましたが、まだ目に見えるような成果にはつながっていません。今後も、学校では、校内研究をはじめ、児童の実態に合わせた指導力向上の研修を進めてまいります。

各ご家庭におかれましては、まずは、お子さんが家庭学習に取り組む習慣を確実に付けていただけたらと思います。また、授業にしっかり取り組めるためには、集中力や粘り強さ、話をしっかり聞く姿勢など、態度面も大切です。学校でも指導してまいります。ぜひ、ご家庭のご協力をお願いいたします。

②進んであいさつのできる子を育てる

あいさつは、ここ数年、学校評価で課題となっていることです。学校評価の自由記述欄にも、多くの保護者の方々から、あいさつがよくできていない指摘をいただきました。

あいさつの励行は学校経営の重点にもあがり、全校朝会での話（学校長や看護当番の話）をはじめ、毎週、水曜日に行っている「あいさつ当番」など、力を入れてきていることです。その甲斐があつてか、多くの児童は、進んで気持ちのよいあいさつをしてくれますが、一方で、いくらこちら側から大きな声をであいさつをしても反応しない児童も少なからずいます。田二小の児童全員があいさつの大切さに気付いて、自分から進んでできるよう、引き続き、指導に力を入れてまいります。